

【石膏モールドについて】



《はじめに》

石膏型を生産するためのゴム型(マスターケース)は経年劣化、摩耗、変形が見られます。

よって、そこから生産される石膏型も完全ではありません。

ご注文の際は、それらを理解した上でご注文ください。(注文生産品につき、返品 & 交換はできません)

※モールドに付属のゴムバンドはサービス品です。
(劣化しやすいので使うときは注意してください)

《不良の種類と対策》

- ディテールがあまい … ゴム型の摩耗が原因。古い品番のモールドに見られる。
→ 経年劣化のため、対処法なし。
- 石膏型のかみ合わせが悪い … ゴム型の変形が原因。軽度であればバリが出る程度。重度の場合、隙間から粘土が漏れる。※ヘッドよりもボディやパーツに多く発生する不良
→ 軽減対策は下記の『隙間対策』をご覧ください。
- 石膏型パーツの落ち込み & 外れ … 石膏型の設計(形状)の問題。
→ 軽減対策は下記の『落ち込み対策 & 外れ対策』をご覧ください。

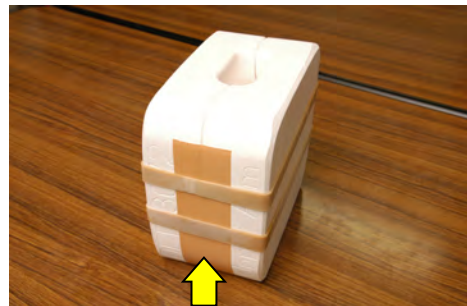
『隙間対策』



〔例:バリ〕



〔例:隙間〕



モールドの合わせ目に、布テープを貼り、粘土(スリップ)が漏れないようにする。

『落ち込み対策』

・写真はボディの首のパーツが内側に落ち込み、出来上がったボディに凹みができてしまった。



〔例:パーツ落ち込みによる凹み〕



石膏型を確認し、出っ張っているようなら削る。※石膏型の削りは慎重に。



フェザーナイフで縁を削っているとこ。最後はやすりで表面を整える。

『外れ対策』

・石膏型で、ヘッドの耳やボディの首などのパーツは、粘土を鋳込んだ際の水圧で外れる場合がある。



外れそうなパーツの上にゴムをかける。

ゴムだけでしっかり押さえられない場合は、紙や布を間に入れ、パーツに圧がかかるようにする。

[例:しっかり押さえたところ]

《石膏型の調整》



石膏型(特にボディモールド)は、そのままだと、気になる凹みやでっぱり、傷などが多数あります。
左の写真はそれらに印を付けた一例です。

自身で気になる部分を洗い出し、印を付け、それを見ながら、石膏型を削り、直せる部分は直しておくとい良いでしょう。



(制作) 有限会社 みくにビスグドール

〒169-0075 東京都高田馬場 4-11-8-5F

電話/FAX: 03-3366-8979 Eメール: mikuni-bd@nifty.com